

箕面市教育大綱実行計画 2025

令和7年(2025年)3月

箕面市

① 小・中学校 9 年間の授業で英語が話せるまち箕面の実現

- 各小・中学校に複数人配置している外国語指導助手を有効に活用し、授業だけでなく日常の様々な場面で子どもたちが生きた英語に触れる機会を増やすことで、子ども達の「英語を使う力」を高める。
- 異なる文化の人に対しても、目的・場面・状況に応じて、相手を意識し、自分の考えや気持ちを表現できる力を育てていくため、大阪大学や箕面市国際交流協会とも連携しながら、子ども達の国際交流の機会を増やす。また、オンラインを活用して、外国の子ども達と交流する機会の創出に努める。
- 小・中学校 9 年間の義務教育課程で、アウトプットの機会を十分に持ち、実践的な英語力を身につけられる英語授業を実施する。

② 子ども・教職員が ICT を使いこなす学校の実現

- 各校の情報教育推進担当者が ICT 支援員と連携し、校内 ICT 研修を行うことで、教職員の ICT スキルを高める。また、9 年間を見通した情報活用能力系統表をもとに発達段階に応じた授業を行い、子どもたちの ICT 活用スキル、プログラミング的思考、情報リテラシーを育てていく。
- 子どもたち一人ひとりの個別最適な学びを実現するため、「箕面子どもステップアップ調査」の結果を基に作成された子どもたちの個人カルテ「ダッシュボード」や、個々の課題に取り組むことができる「AIドリル」を積極的に活用していく。
- 支援学級在籍児童生徒をはじめとして、一人ひとりに合わせた学びを提供していくために LITALICO 教育ソフトの活用を行う。

③ 複雑多様化する学校現場に対応した学習支援体制の強化

- 教育委員会事務局に箕面版スクールロイヤーを配置し、学校でのトラブルについて初期対応の段階から教職員へ助言を行うことのできる体制を構築することで、子どもたちの最善の利益の追求に努める。
- 授業支援員や校内教育支援センター支援員の増員等により生徒指導体制を強化し、子ども達の「生きる力」と「つながる力」の育成を図り、いじめ、不登校、暴力、虐待など、多様化・複雑化する学校の課題により丁寧に対応していく。
- 小・中学校に在籍する児童生徒のうち、不登校や病気による長期欠席、生活困窮家庭等により、学習支援が必要な者に対し、学生サポーターを派遣し、登校支援や学習支援等を行う。

④ 子ども達の体力向上

- 中学生の体力向上を目的に、体力向上推進モデル校を選定し、授業研究・授業改善を進め、好事例を市内全域に共有していく。
- 水泳授業民間委託事業の令和 8 年度からの全校展開を視野に、先行実施校(北小学校、豊川北小学校、萱野北小学校、箕面小学校、彩都の丘学園)5 校に加え、箕面グリーンロードを通過し民間プール施設まで移動するとどろみの森学園と、民間プール施設まで徒歩で移動する西南小学校を新たに追加し、計 7 校での効果検証を行っていく。
- 生徒にとっての望ましい部活動環境の整備と、教職員の負担軽減を図るため、令和 9 年度からの部活動地域展開の完全実施を目標に、令和 7 年度は通年での休日における地域展開の取組を行う。

⑤ 小・中学校で分断されない、一貫した教育の実践

- 令和 6 年度から 2 つの中学校区に配置している小中一貫教育推進コーディネーターのさらなる活用や、「箕面子どもステップアップ調査」の結果から見えた成果と課題を中学校区で共有することにより、9 年間を見通した小中一貫教育をさらに進め、学習支援の多様化や教育の質の向上を図っていく。
- 箕面市支援教育方針に基づき、児童生徒が適切な学びの場において、9 年間でそれぞれの持つ力を最大限に伸ばしていけるように、教員の専門性の向上や支援教育専門員の巡回等、支援教育の充実のための取組を行う。
- 大阪青山大学と連携して、より豊かでおいしい低アレルゲン献立給食を提供するとともに、給食を生きた教材として活用し、9 年間で連続性のある食育を推進する。

子育て施策 全ての子育て世帯にとって、子育てしやすいまちをめざします

① 真に使い勝手の良い子育て支援施策の展開

- 子どもを持つことを希望する夫婦への経済的な負担に対する支援、また、経済的にも身体的にも負担のかかる妊娠期から1歳までの子育てに対する支援を実施することで、妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援を強化する。具体的な施策は次のとおり。
 - ・不妊症・不育症の治療に要する費用の一部助成
 - ・妊娠期から1歳の誕生月までの時期における家事・育児を支援するヘルパー派遣
 - ・生後3か月から1歳の誕生月までの時期におけるおむつ・ミルクなどの支給品の配達
- 全ての妊産婦・子育て世帯を対象に、伴走型の相談支援、支援が必要な妊産婦・子育て世帯への家庭支援サービスを盛り込んだサポートプランの作成による計画的かつ包括的な支援を行う。
- 子どもの豊かな成長のため、4か月児健診の場で、絵本をひらく「楽しい経験」と「絵本」をプレゼントするブックスタートの取組を開始し、親子ともに絵本に親しむきっかけをつくる。

② 待機児童ゼロの実現

- 待機児童の解消や一時保育のニーズに応じた受入の実現に向け、民間保育施設における新たな保育士確保と現に働く保育士の離職防止の双方の観点から、就職支援補助金や生活支援補助金等の保育士確保施策の効果検証や見直しを行い、保育ニーズや民間保育施設の定員確保の状況に応じた保育士確保策を推進する。
- 公立園の保育士等についても、今後の保育ニーズを踏まえ計画的な採用を実施する。
- 病児・病後児保育について、就労と子育てを両立する保護者が利用したいときにスムーズに利用できるよう、今後もニーズを把握し、よりよい環境整備に努める。

③ 保育・幼児教育の質の向上

- 公立幼稚園・保育所の再編について、令和3年に策定した新箕面市アウトソーシング計画で「西部及び東部地区の幼稚園施設を活用した3歳から5歳児の公立認定こども園の整備」、「保育所は0歳から2歳児の乳児特化型保育園としたうえで、民営化または廃園」とした内容の見直しを行い、保育所施設を活用した「0歳から5歳児を対象とした認定こども園」の整備をめざす（実施時期は、令和9年度に桜ヶ丘保育所、令和10年度に東保育所）。
- 市内全ての就学前保育・教育施設等における保育・幼児教育の質向上をめざし、研修会、支援保育・教育に関する研究会及び巡回訪問等を実施する。また、民間園在籍の保育・幼児教育サポーターとともに研修や巡回訪問等を進め、研修等による学びを各園の学びに繋げることをめざす。
- 令和6年度に策定した「架け橋期カリキュラム」を活用し、保育・幼児教育と小学校教育の円滑な接続にかかる取組を進める。

① 公共施設の有効活用と生涯学習機会の充実

- 郷土資料館において、箕面の各地域の歴史をはじめ箕面ゆかりの人物や文化などを、映像やタッチパネル等デジタル機器も活用した展示により、市民の郷土理解を促進し、魅力ある展示や市民参加型イベントを定期的に開催することで、市民が気軽に郷土の歴史に触れ、郷土愛を育み、新たな箕面の魅力を発見できる場を提供する。また、史跡の保護や見やすい案内看板の設置を進めるとともに、八天石蔵ウォークトライアルなど史跡巡りのイベントを開催することで、市内各地の旧跡や文化財について興味を持っていただく機会を増やす。
- 生涯学習講座やシニア塾などを通じて、受講者同士が交流することで、講座後のグループ活動への加入など学びの場の広がりや継続に繋がるとともに、豊かな感性や情操を育むため、親子や子ども向けの生涯学習講座を企画する。また、本年はハット市との国際協力都市提携 30 周年であり、2 月に市訪問団がニュージーランドを訪問したことに引き続いて、5 月に箕面市でニュージーランドフェアを開催するほか、オンライン交流先のトウイグレンスクールの生徒らの受入れを通じて、世界に開かれたまちづくりをめざし、国際交流に関する学びの充実を図る。
- 多くの市民が日常的に読書を楽しみ、読書習慣がさらに広がるように取り組む。図書館各館で、絵本の読み聞かせや手遊び、工作遊びなどを体験できるおはなし会を開催し、親子が安心して自由に本を読む交流の場としての空間づくりを進める。また、船場図書館での大学との連携による催しや、西南図書館での映画会、コンサート、ボードゲーム、ブロック遊びなど、親子で楽しめるイベントの開催などにより、図書館が子どもたちにとって学びや交流の場となり、その感受性や共感力を高められるような図書館サービスを提供していく。

② 箕面市アートプロジェクトの推進

- 箕面市アートプロジェクトとして、多くの公共施設を活用し、館内にアート作品を展示するほか、ガラス扉やチョークボードを使ったアート制作などにより、日常的にアートを感じられ、表情豊かなアートに溢れたまちを創出する。
- 箕面駅前、桜井駅前、箕面船場阪大前駅の野外ステージ等を活用し、学生や市民団体等へ発表の場を開放して利用してもらうことにより、まちなかで音楽やダンスを楽しめる場を提供するなど、子ども達への情操教育の充実を図るとともに、文化活動をより身近に感じられる環境を創出する。
- 豊かな市民文化を育み、個性あふれる生涯学習社会の実現をめざす箕面市民展や、多様な人々が交わり創造する協奏のまちづくりをめざす箕面アートフェスの開催を通じ、プロのアーティストや作品などと触れられる場を提供するなど、アートプロジェクトの推進を図る。

③ スポーツの機会の充実

- 幼児から若者、高齢者に至るまで、すべての世代がスポーツに親しむ機会を充実させるため、運動施設の整備や身近な公園での健康遊具の設置を行う。また、サントリーサンバーズ大阪、ガンバ大阪、大阪エヴェッサ、岩谷産業陸上競技部などの本市にゆかりのあるスポーツチームと連携し、箕面スポーツカーニバルなどのイベントでトップアスリートによる指導の機会を創出したり、ガンバ大阪公式戦のパブリックビューイングを開催するなど、スポーツに接する機会となるイベントの実施・検討を図る。
- 令和 8 年度に開業予定で、小学校水泳授業の民間委託の受け皿となり、かつ市民利用も可能な室内温水プールにおいては、DBO 事業者の公募を通じて民間事業者の創意工夫を積極的に取り入れ、子どもの体力向上だけでなく、高齢者を含むすべての市民の健康増進に資する施設の整備をめざし、建設工事に着手する。また、温水プールの運営方法について、事業者と協議を進める。
- 令和 6 年度に開業したスケートボードパークでは、未経験者が参加しやすいスケートボードの体験会を開催し、親しみを持ってもらうことで、今後の運動習慣の形成や利用促進に繋げる。